

3月27日に発生した 血液事業情報システムへの ログイン障害に関する検証結果報告



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

平成30年6月22日
平成30年度第2回薬事・食品衛生審議会
血液事業部会

1 概要

(1) 発生日時

平成30年3月27日（火） 9時10分頃発生（～16時10分頃復旧）

(2) 障害内容

血液事業情報システムにログインできない事象が、全国規模で7時間にわたり発生し、多くの献血会場で献血受入れができなくなったほか、製造所において輸血用血液製剤の製造遅延が生じた。

なお、障害発生時にログイン済の端末については、献血受入、製造、供給等の通常業務が実施可能であった。

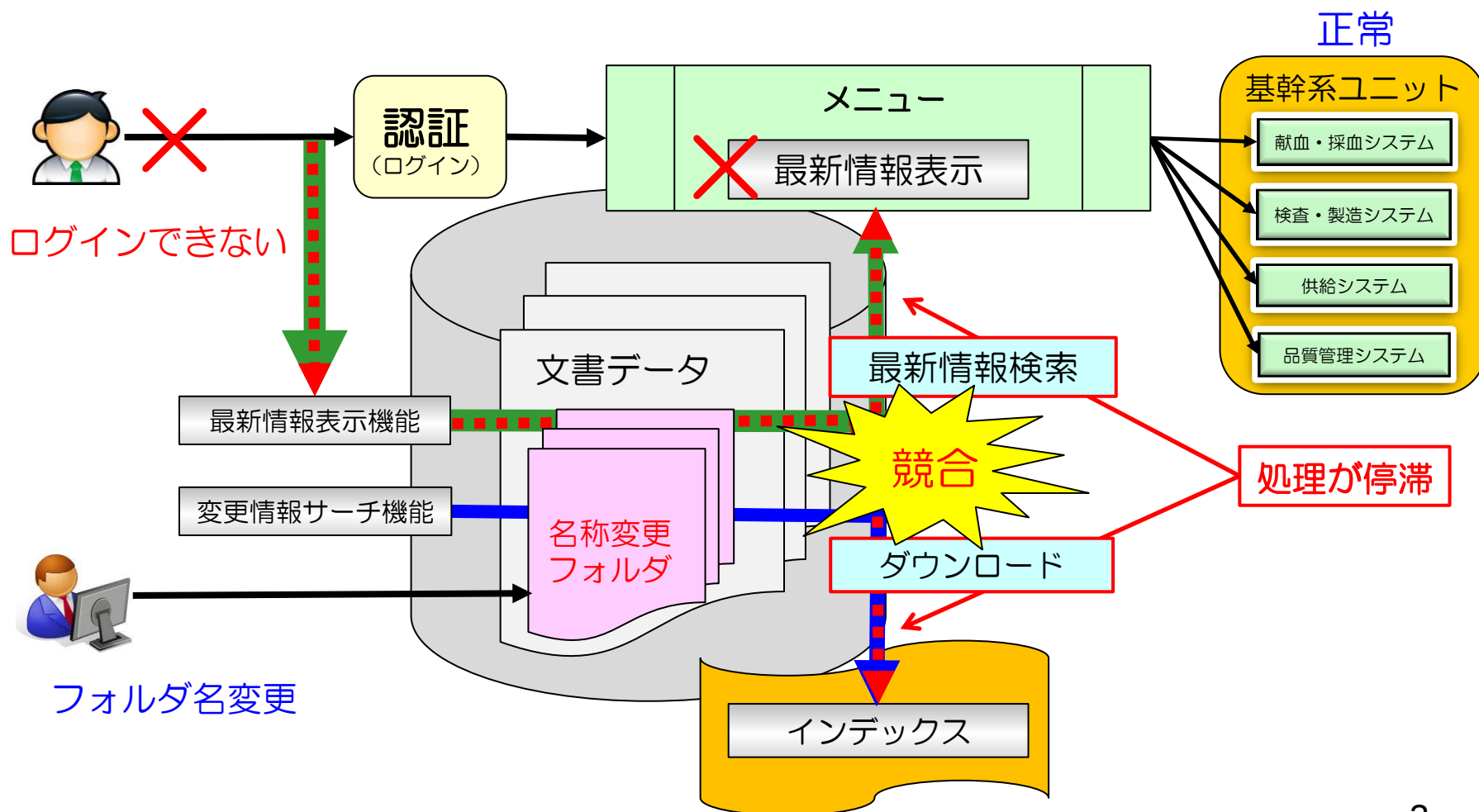
(3) 障害箇所

血液事業情報システムの構成ユニットのひとつである「情報ポータル認証システム」内のデータベースの障害

（献血・採血システム等の基幹系ユニットは正常動作）

2 原因

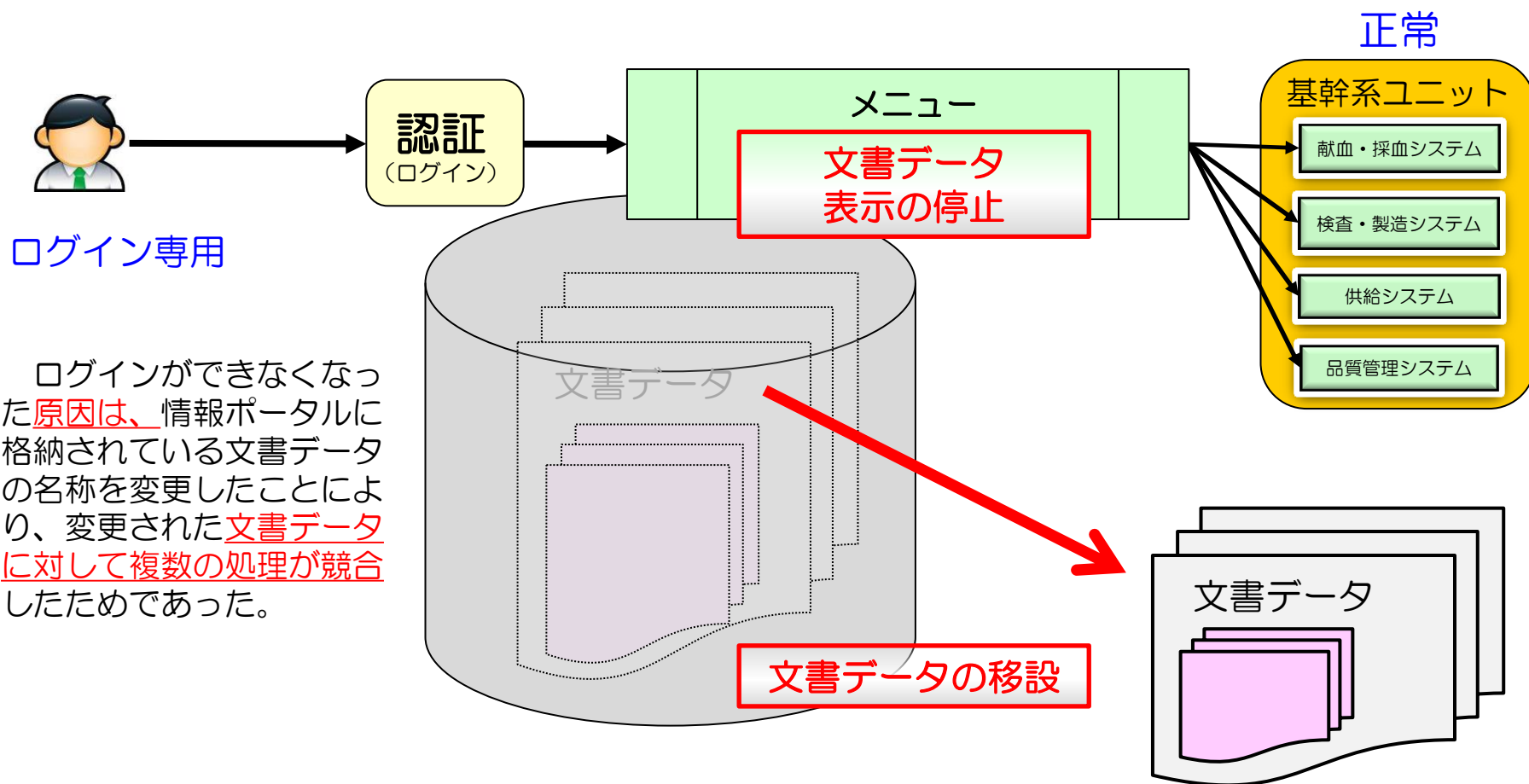
文書データのフォルダ名を変更したことにより、最新情報検索とインデックス作成のためのダウンロードが、同一文書データ（フォルダ）を使用するため、競合が発生し、処理が停滞



3 再発防止策

文書データを他のシステムへ移設し、文書データに関連する処理を完全に排除する。

情報ポータルは、基幹系ユニットへの入り口（認証）専用とする。



4 最後に（お礼とお詫び）

この度発生しました、血液事業情報システムへのログイン障害により、多くの皆様にご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

障害により、多くの献血会場で献血の受入れに支障をきたし、輸血用血液製剤のうち、血小板製剤については、当日計画していた必要量を十分に確保できず、医療機関への安定的な供給が懸念される状況でした。幸いにして、多くの国民の皆様にご協力いただいた結果、医療機関への安定供給に支障が生じることはございませんでした。

これもひとえに、献血にご協力いただきました皆様をはじめ、関係機関・各報道機関・献血の協力を呼び掛けてくださった方々など、多くの温かいご支援のおかげであり、改めて感謝申し上げます。

このような事態が再び生じることのないよう、根本的な再発防止対策を講じたところであります。

今後とも、血液事業へのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。